



先週
の
ドル
円

Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

先
週
の
相
場
概
況

22日

ドル円は仲値にかけて買いが入り、一時108.07円まで上昇する場面も見られたが、その後は米長期金利が低下した影響から買いも一服した。

23日

ドル円はアジア時間から株高を支えにした買いが先行。また、海外時間には米政府と議会が債務問題で合意したことを好感した買いも入った。米中通商協議の進展期待も相場の支援材料となり、一時108.29円まで値を上げた。

24日

ドル円は108円台前半で上値の重さを確認すると、オプションが観測されていた108.00円を挟んだもみ合いに。弱い米指標の発表後には107.94円まで弱含む場面も見られたが、引けにかけてはショートカバーが進んだ。

25日

ドラギECB総裁の会見を受けて、過度の早期利下げ観測が後退すると独長期金利が上昇。つれて米長期金利も上昇し、ドル円には金利上昇を手掛かりにした買いが入った。米経済指標が予想より強い結果となったことも相場の支えとなり、一時108.75円まで値を上げた。

26日

ドル円は108円台後半での方向感を欠いた動き。4-6月期米GDP速報値が強い結果となったことで一時108.83円と10日以来の高値を付けたものの、買いの勢いは長続きしなかった。

総括

先週のドル円は強含んだ。米中通商協議の進展期待が高まったこともあり、23日には一時108.29円まで上昇。25日には独長期金利の上昇につれて米金利が上昇し、日米金利差拡大を見越した買いも広がった。4-6月期米GDP速報値など週末にかけて強い米経済指標の発表が相次いだことも相場の支えとなり、26日には一時108.83円まで上昇する場面も見られた。

先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値	結果
23日	23:00	火	USD	リッチモンド指数	*	7月	3	2	5	-12
23日	23:00	火	USD	中古住宅販売件数	年率換算	6月	534万件	536万件	533万件	527万件
24日	23:00	水	USD	新築住宅販売件数	年率換算	6月	62.6万件	60.4万件	66.0万件	64.6万件
25日	20:45	木	EUR	ECB政策金利	*	*	0.00%		0.00%	0.00%
25日	21:30	木	EUR	ドラギECB総裁会見	*	*	*	*	*	*
25日	21:30	木	USD	耐久財受注	前月比	6月	-1.3%	-2.3%	0.7%	2.0%
26日	21:30	金	USD	GDP速報値	前期比	4-6月期	3.1%		1.8%	2.1%

一言コメント・・・ECBは市場予想通り政策金利の据え置きを決めました。その後のドラギ総裁の会見を受けてユーロを買い戻す動きが広がりました。米耐久財受注や米GDP速報値が予想を上回ったことでドル買いが優勢となりました。

先週の注目された要人発言

22日21:07 トランプ米大統領「FRBの利上げと引き締めは行き過ぎで早すぎた」「FRBは大きく失敗した」
 23日00:04 黒田日銀総裁「しっかり強力な金融緩和を続けていく」
 23日16:06 ソンダーズ英MPC委員「利上げの必要を示唆する予想に中銀は縛られていない」
 23日20:12 ジョンソン新英保守党党首「我々は10月31日にEUを去る」
 24日21:17 ムニューシン米財務長官「長期的に強いドルは重要」「短期的なドル安を支持しない」
 24日23:55 ジョンソン英首相「英国は10月31日にEUを離脱する」
 25日12:07 ロウRBA総裁「必要であれば追加緩和策を講じる用意がある」
 25日20:48 ECB声明「必要ならば長期に渡って金利は現行かさらに低い水準と予想」「利上げ開始後も保有債券償還金の再投資を長期に渡り継続」「ECBは金利階層化を含む選択肢の検討を指示」
 25日21:38 ドラギECB総裁「大規模な金融緩和が必要」「年末にかけてインフレは上昇する」「見通しは特に製造業でますます悪化している」「利下げなら影響を緩和する措置も同時に打ち出す」「利下げについて本日は議論しなかった」「利下げの場合の利下げ幅や資産買い入れについて議論せず」「リセッションのリスクは依然として非常に低いとみる」
 26日18:12 エルドアン・トルコ大統領「トルコ中銀の利下げは十分ではない」「段階的な利下げの継続が必要」
 26日23:24 クドローNEC委員長「ホワイトハウスはいかなる為替介入も排除する」「トランプ米大統領は弱いドルを望んでいない」

一言コメント・・・英国の新首相であるジョンソン氏の発言でEUとの再交渉の行方は見通せず、「合意なき離脱」の可能性を警戒した売りが優勢となりました。ロウRBA総裁の発言で豪ドル売りも目立ちました。

今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
30日	未定	火	JPY	日銀政策金利	*	*	-0.10%		-0.10%
30日	15:30	火	JPY	黒田日銀総裁会見	*	*	*	*	*
31日	18:00	水	EUR	GDP速報値	前期比	4-6月期	0.4%		0.2%
31日	27:00	水	USD	FOMC政策金利	*	*	2.25-2.50%		2.00-2.25%
31日	27:30	水	USD	パウエルFRB議長会見	*	*	*	*	*
1日	20:00	木	GBP	MPC政策金利	*	*	0.75%		0.75%
2日	21:30	金	USD	NFP	前月比	7月	22.4万人		17.0万人

今週の注目は・・・日米金融政策イベント

週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
 - 荻野金男
 - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
 - 今井雅人
 - 越後屋の小言

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。